

# 全国市長会の

# 動き

8月25日～9月10日

全国市長会ホームページURL

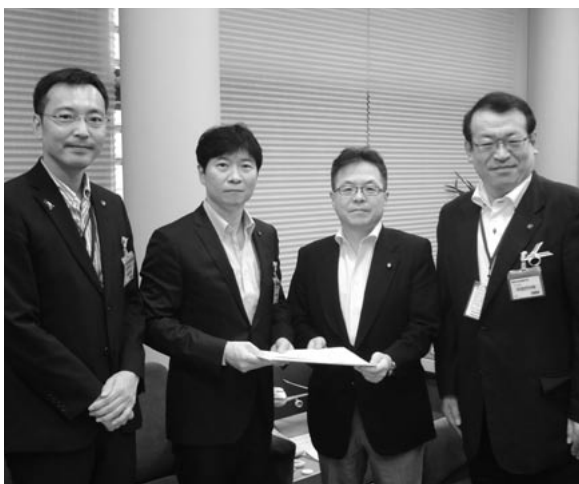
<http://www.mayors.or.jp/>

## #1

牧野・飯田市長、國定・三条市長が「農地制度のあり方について」、内閣官房副長官などに面談要請

8月25日、経済委員会委員長の牧野・飯田市長と國定・三条市長は、伊原木・岡山県知事とともに、世耕・内閣官房副長官、加藤・内閣官房副長官、高市・自由民主党政務調査会長、森山・自由民主党総務会長代理、西銘・自由民主党総務部会長、金子・自由民主党農林部会副部会長（元全国都道府県議会連合会会長）、山本・衆議院議員（元農林水産副大臣）に面会のうえ、「農地制度のあり方について」（地方六団体報告書）の実現方について、8月5日・19日に引き続き要請を行った。

【行政部・経済部】



世耕・内閣官房副長官（左から3人目）と面会する國定・三条市長、伊原木・岡山県知事、牧野・飯田市長（左から）

## #2

「自由民主党総務部会関係合同会議」に地方六団体代表等が出席

8月27日に開催された「自由民主党総務部会関係合同会議」に、森会長をはじめ地方六団体等の代表が出席。

地方六団体からは、山田・全国知事会会長が代表して、①アベノミクス効果を津々浦々まで及ぼすため、安定的な財政運営に必要となる地方の一般財源総額を確保すること、②地方交付税の法定率の引上げを含めた抜本的な見直し等を行うこと、③法人実効税率の引下げを行う場合は、地方の歳入に影響を与えることのないよう恒久減税には恒久財源を確保すること、④先の人事院勧告において示された国家公務員の俸給水準の引下げの方向性について、官民を通じた給与の地域間格差の拡大が懸念され、地方と都市部の格差が一層拡大することのないよう適切な措置を講じるこ



発言をする朝長・佐世保市長

と等を要請した。

また、全国基地協議会からは会長の朝長・佐世保市長、副会長の吉田・横須賀市長、松浦・防府市長、広瀬・松茂町長、新川・築上町長が出席し、朝長会長から、基地が所在することによる障害や不利益への対応は、基地関係市町村のみが負担するのではなく、国の責任の下、広く国民全体の負担をもって行われるべきこと等から、①基地関連予算については、他の一般行政施策と同列視せず、平成27年度基地交付金・調整交付金及び基地周辺対策経費の所要額を確保すること、②調整交付金については、基地交付金と同様、義務的経費とすること等を要請した。

〔財政部・社会文教部〕

**#3** 与党税制協議会ヒアリング(消費税の軽減税率)に本間・都市税制調査委員会副委員長(ひたちなか市長)が出席

8月29日に開催された、消費税の軽減税率に関する与党税制協議会ヒアリングに本間・都市税制調査委員会副委員長(ひたちなか市長)が出席し、①社会保障の安定財源を確保する観点から、平成27年10月からの消費税率10%への引上げを確実に実施すること、②軽減税率制度を検討するに当たっては、この大前提として、将来にわたって社会保障財源の



発言をする本間・ひたちなか市長

安定的確保が損なわれることがあってはならないこと、③軽減税率制度の導入に当たっては、対象品目選定の公平性、困難性等様々な課題があることから慎重に検討すること等を要請した。

〔財政部〕

**#4** 「平成27年度都市税制改正に関する意見」を決定

9月2日に、都市税制調査委員会委員長・高橋・高岡市長)を開催し、「平成27年度都市税制改正に関する意見」を決定した。

同意見では、「真の分権型社会の確立に向けた地方税法体系の構築」「消費税率の引上げ」「法人実効税率の見直しに伴う代替財源の確保」「地方法人課税の偏在是正に伴う都市自治体の意見の反映」「固定資産税の安定的確保」

「車体課税の見直しに伴う安定的な代替財源の確保」「環境施策に係る地方の役割に応じた地方税財源の確保」「ゴルフ場利用税の現行制度の堅持」「都市税財源の充実強化」等について提言している。

なお、取りまとめた意見については、全国会議員、総務省等に配付または送付するとともに、今後の税制改正に係る要望活動に使用することとしている。

〔財政部〕

**#5** 森会長が高市・総務大臣、石破・地方創生担当大臣に面会

9月8日、森会長は、第2次安倍改造内閣



高市・総務大臣と面会する森会長

9月10日、経済委員会委員長の牧野・飯田市長は、古川・佐賀県知事並びに杉本・福井県池田町長とともに、二階・自由民主党総務会長、稲田・自由民主党政務調査会長、坂本・衆議院農林水産委員長、宮腰・衆議院農林水産委員会筆頭理事並びに野田・衆議院議員（元自治大臣）に面会のうえ、「農地制度のあり方について」（地方六団体報告書）の実現方について、引き続き要請を行った。

〔経済部〕

**#6** 牧野・飯田市長が「農地制度のあり方について」、自由民主党総務会長並びに政務調査会長などに面談要請

により新たに就任した、高市・総務大臣、石破・地方創生担当大臣に面会し意見交換を行った。

〔企画調整室〕



石破・地方創生担当大臣と面会する森会長

## 市政読書室

### 金沢を歩く

元金沢市長 山出 保 著  
岩波書店 定価860円(本体)

著者は金沢生まれ、金沢で学び、金沢市職員となり、金沢市長を5期20年つとめる間、全国市長会会長を2期4年つとめた。

このほど金沢のまち、歴史、文化の魅力を伝える「金沢を歩く」を出版。新幹線の金沢開業を来春に控え、電車に乗る前に一読して欲しいし、おもてなしをする人たちにも是非、目を通して欲しいという。

「歩く」をキーワードとした4章構成の本書は、単に金沢の紹介に止まらない。

全国各地、世界を見渡しても、自然や歴史、文化や人々が全く同じ地域は一つもなく、地域の個性を知り、活かすことが、まちづくりの基本であることに、改めて気付かされる。

国が地方創生に全力を挙げるとしている中、本書の随所に込められている、地方創生に向けたエキスやヒントをも汲み取って欲しい。

